

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2010-205299(P2010-205299A)

【公開日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-037

【出願番号】特願2010-129879(P2010-129879)

【国際特許分類】

G 07 D 9/00 (2006.01)

【F I】

G 07 D 9/00 416 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月27日(2012.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも部分的に紙幣を係合させ、かつ移動して該紙幣を運搬する少なくとも2つの相補的表面を含んだ紙幣運搬装置であって、該表面の少なくとも一方は該表面が静止状態のときに物体が該運搬装置に挿入されるのを阻止する阻止手段を含んだ紙幣運搬装置。

【請求項2】

該阻止手段は該相補的表面の少なくとも一方に形成された切欠きを含む請求項1に記載の紙幣運搬装置。

【請求項3】

該運搬装置が使用されていないときに該表面の移動を阻止する手段を備えた請求項1又は2の1に記載の紙幣運搬装置。

【請求項4】

紙幣を運搬する方法であって、

該紙幣の剛性に依存する力を用いて該紙幣を運搬する工程と、

該力が所定の限界値を超えたときに該紙幣の移動を阻止する工程とを含む方法。

【請求項5】

該紙幣の移動を阻止するためにトルク・リミッタが使用される請求項4に記載の方法。

【請求項6】

該紙幣の移動を阻止するためにクラッチが使用される請求項4に記載の方法。

【請求項7】

第1の位置において表面が波状の紙幣経路を定め、かつ第2の位置において該表面が係合して密閉を提供するように、該第1の位置と該第2の位置との間で移動可能な少なくとも2つの表面を含み、

該少なくとも2つの表面が該第1の位置にあるときは、該少なくとも2つの表面は、感激によって分離されて、1つの波形の紙幣経路を画定し、該少なくとも2つの表面が該第2の位置にあるときは、該少なくとも2つの表面は互いに係合して、密閉を提供する紙幣運搬装置。

【請求項8】

該表面は紙幣経路の少なくとも一部を形成する請求項7に記載の紙幣運搬装置。